

## センターの経歴

- 2013年12月18日  
東北大学と国土交通省東北地方整備局が協定締結
- 2014年1月15日  
東北大学大学院工学研究科内に、インフラ・マネジメント研究センター (IMC) を設立
- 2014年8月～2019年2月  
新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)  
インフラ維持管理・更新等の社会課題対応システム開発プロジェクト に採択  
採択課題名：道路構造物ひび割れモニタリングシステムの研究開発  
参画機関：首都高技術(株)、東北大学、(国研)産業技術総合研究所
- 2016年4月～現在  
東北大学 社会にインパクトある研究 のプロジェクトを担当
- 2016年9月～2019年3月  
内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム 地域実装支援拠点 に採択  
採択課題名：東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの構築と展開  
研究開発グループ：東北大学  
共同研究グループ：東北大学 IMC、八戸工業大学、岩手大学、秋田大学、日本大学
- 2018年4月～2019年2月  
東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム (BIP)  
2017年度 第2回 BIP「育成」部門 に採択  
研究題目：インフラ維持管理の本格化に向けた AI を活用した画像処理技術によるひび割れ検出システムの開発と実用化

- 2019年3月1日  
東北大学 IMC から派生した東北大学発のベンチャー企業  
株式会社 インフラ・ストラクチャーズ (IS) を設立

- 2019年3月5日  
第1回 日本オープンイノベーション大賞「国土交通大臣賞」を受賞

- 2019年4月～2020年11月  
インフラ維持管理・強靱化セミナー (共催) を開催

- 2019年11月～2021年3月  
官民研究開発投資拡大プログラム (PRISM) に参画  
[対象エリア] 2019年度：島根県 / 2020年度：島根県、山形県

- 2021年4月1日  
「インフラ情報マネジメントプログラム」共同研究部門 を開設

- 開設日：  
2021年4月1日
- 契約相手先：  
福井コンピュータ株式会社  
株式会社インフラ・ストラクチャーズ
- 研究期間：  
2021年4月～2024年3月



東北大学工学部・工学研究科の本部棟(中央棟)に連携協力企業のプレートを設置。

## 活動の3本柱

- 自治体支援
- 人材育成
- 調査・研究 技術開発

## 主な事例



東北大学 社会にインパクトある研究

G0プロジェクト  
「インターフェイス web 構想」へ参画しています。



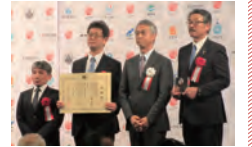
個々の研究プロジェクトと社会との隔たりを解消し、専門的知見の公開など、「広報」としての web を構築しています。

<http://www.eci.tohoku.ac.jp/impact/>

### 国土交通大臣賞

受賞対象技術  
「東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの構築と展開」

18の連携協定のもと大規模なインフラ・マネジメント・プラットフォームを構築しており、喫緊の課題であるインフラ老朽化対策として、情報データベース化、一元管理で効率的かつ高度なインフラメンテナンス対策に取り組んでいる点が評価されました。



授賞式 (2019年3月5日)

### 2020年度 インフラ維持管理・強靱化セミナー

東北建設業協会連合会との共同研究の一環として開催しました。

プログラム(技術者向け)

- ◇ インフラ維持管理の現状と展望 (東北大学IMC)
- ◇ 鋼橋の補修・補強における設計・施工の留意点 (日本橋梁建設協会)
- ◇ プレストレスト・コンクリート構造物の特徴と技術上の留意点について (プレストレスト・コンクリート建設業協会)
- ◇ BIM/CIMの動向と取り組み事例 (建設コンサルタンツ協会)
- ◇ I-Constructionの本質と正しい取り組みについて (日本建設業連合会)
- ◇ 事例発表(道路・河川) (東北建設業協会連合会会員)



プログラム(経営層向け)

- ◇ インフラ維持管理の現状と展望 (東北大学IMC)
- ◇ AI、ドローンの事例 (インフラ・ストラクチャーズ)
- ◇ PPP/PEIの推進と「みやぎ広域PPPプラットフォーム」の取り組み (七十七銀行 地域開発部)
- ◇ 新技術導入のポイント (大崎総合研究所)
- ◇ 新技術開発と安全対策 -2つの壁の構築- (慶応義塾大学 理工学部)



※( )内は講師担当機関・企業名です。  
※当初は年間で全5回を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、第1回、第2回を中止しました。

開催頻度  
技術者向け：年2回  
経営層向け：年1回  
総参加者数 77名  
(技術者56名、経営者21名)

## 人材育成

### 管理者の育成



### ドローンによる橋梁点検の見学会

実施日：2020年11月9日  
場 所：鳥取県湯梨浜町内の橋梁  
実施者：鳥取県建設技術センター、東北大学 IMC、IS

鳥取県建設技術センターとの共同研究の一環として実施。自治体職員を対象とした、ドローン点検現場の見学会を実施しました。

### 次世代の担い手育成



### インフラメンテナンス見学会

実施日：2020年11月5日  
場 所：山形県米沢市内の橋梁  
主 催：山形県県土整備部道路保全課、東北大学 IMC、IS  
参加者：米沢市の工業高校の学生 (21名)

自治体職員への見学会を実施した同日に、工業高校の学生を対象とした見学会を同様の内容で開催しました。